

問1 ノルウェーはアルミニウムの主な原料となるボーキサイトを自国で産出せず輸入に頼っていますが、アルミニウム工業が国の主要な産業となっています。この産業が発達した理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 精錬に必要な膨大な電力を、安価な水力発電で供給できるため
2. 北海から産出される質の高い石炭を精錬の燃料に利用できるため
3. フィヨルドの平坦な沿岸部に、大規模な工場用地が確保しやすいため
4. チタンや鉄鉱石と混ぜ合わせることで、低温での精錬が可能なため

問2 ノルウェーの沿岸部において、海岸線が非常に複雑に入り組んでいる様子が見られます。この、氷河による浸食を受けてできた深く鋭い谷に海水が入り込んで形成された地形の名称を選びなさい。（2020年 岩手県公立入試 類似）

1. フィヨルド
2. リアス海岸
3. デルタ（三角州）
4. カルスト地形

問3 世界の主要な港湾について述べた次の文の空欄に当てはまる語句として正しいものはどれですか。「オランダのロッテルダムは、ヨーロッパの玄関口と呼ばれる。これは、複数の国の領域を流れ、船舶の自由な航行が認められている（ ）の河口に位置し、内陸部との輸送網が発達しているためである。」（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 国際河川
2. 外来河川
3. 天井川
4. 一級河川

問4 欧州連合（EU）は、約437万平方キロメートルという比較的限られた面積の中に5億人を超える人口を抱え、多額のGDPと膨大な貿易額を記録しています。このように、複数の国々が統合することによって高い経済水準や貿易額を実現できている背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 秋田県公立入試 類似）

1. 域内の加盟国間にかかる関税を原則として撤廃し、一つの巨大な共通市場を作っているから
2. すべての加盟国が石油や石炭などのエネルギー資源を自給自足し、他地域への輸出を独占しているから
3. 加盟国すべての公用語を一つに統一し、行政手続きや教育制度を完全に一本化したから
4. 域外のすべての国に対して一律に高い関税をかけ、外国製品の流入を完全に禁止しているから

問5 ドイツ周辺で見られる気候のデータとして、年平均気温が10.0℃、年降水量が578.3mmという統計があります。この地域の気温と降水量の推移に関する説明として、背景や理由を含めて正しく述べたものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 偏西風や暖流の影響を受けるため、冬の気温が氷点下にならないほど温暖で、気温の変化を示す曲線がなだらかになる。
2. 熱帯収束帯の影響を強く受けるため、年間を通じて気温が25℃を超え、降水量が2000mmを上回る多雨となる。
3. 南半球に位置しているため、北半球とは季節が逆になり、7月前後の気温が最も低く推移する。
4. 広大な大陸の内部に位置するため、夏と冬の気温差が非常に大きく、年降水量は300mmを下回るほど乾燥する。

問6 EU（欧州連合）域内における「経済格差」がもたらしている状況や、それに関連する動きについて述べた記述として正しいものはどれですか。（2024年 鳥取公立入試 類似）

1. 賃金水準の低い東ヨーロッパの国々から、より高い賃金を求めて西ヨーロッパの国々へ労働者が移動する現象が見られる。
2. 加盟国間の経済格差をなくすために、EU域内を移動する労働者に対しては、国をまたぐごとに高額な移動税を課している。
3. 経済発展の遅れている東ヨーロッパの国々を保護するため、EU域内では国ごとに農産物や工業製品への関税が維持されている。
4. 国民総所得の低い国々の経済を底上げするため、EUは域外の特定の国に対してのみ、例外的に高い関税をかけることを禁止している。

問7 スペインにおいて、果実類や野菜類の食料自給率が高く、ヨーロッパの重要な食料供給源となっている背景には、現地の自然環境に適応した農業が行われていることが挙げられます。その農業の仕組みと気候の特徴の説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 鳥取公立入試 類似）

1. 夏季に乾燥する地中海性気候を活かし、オリーブやぶどう、柑橘類などを栽培する地中海性農業が行われている。
2. 偏西風と北大西洋海流の影響による西岸海洋性気候を活かし、小麦栽培と家畜の飼育を組み合わせた混合農業が行われている。
3. 一年を通じて温暖で降水量が多い気候を活かし、労働力を投入して米を生産する集約的稲作が行われている。
4. 土地が痩せている冷帯気候を活かし、耐寒性のあるライ麦やじゃがいもを生産しながら、乳牛を育てる酪農が行われている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 精錬に必要な膨大な電力を、安価な水力発電で供給できるため	アルミニウムの精錬には「電気の缶詰」と呼ばれるほど極めて大量の電力が必要となります。ノルウェーはフィヨルド特有の急峻な地形や湖の水を活用した水力発電が発達しており、安価で豊富な電力を得ることができるため、原料を輸入してでも国内で精錬を行う経済的な利点があります。
問2	<b>答え 1</b> フィヨルド	北ヨーロッパのスカンディナビア半島などで見られる、氷河によって削り取られたU字状の深い谷が海水に沈んでできた地形をフィヨルドと呼びます。これに対し、リアス海岸は山地が海に沈んでできたもので、成因に氷河は関係しません。デルタは河川の堆積作用、カルスト地形は石灰岩の溶食作用によるものです。
問3	<b>答え 1</b> 国際河川	複数の国の領土を横断して流れ、条約によってどの国の船舶でも自由に航行ができる河川を「国際河川」と呼びます。ヨーロッパのライン川やドナウ川、東南アジアのメコン川、アフリカのナイル川などがその代表例です。ロッテルダムはライン川の河口にあるため、この利便性を最大限に活用して発展しました。一方、乾燥地帯を貫流する河川は「外来河川」と呼ばれます。
問4	<b>答え 1</b> 域内の加盟国間にかかる関税を原則として撤廃し、一つの巨大な共通市場を作っているから	EUは加盟国同士の経済的な壁を取り払うことを目的としています。国境での関税をなくし、共通貨ユーロを導入（一部の国を除く）することなどで、域内の貿易を活性化させています。これにより、個別の国では達成できない規模の経済圏を構築し、世界の総貿易額の中で大きな割合を占めるに至っています。
問5	<b>答え 1</b> 偏西風や暖流の影響を受けるため、冬の気温が氷点下にならないほど温暖で、気温の変化を示す曲線がなだらかになる。	ドイツの気候は西岸海洋性気候であり、その最大の特徴は「緯度のわりに冬が温かい」ことです。これは北大西洋海流（暖流）の影響を受けた湿った空気が、偏西風によって運ばれてくるためです。提示された年平均気温10.0℃や年降水量約600mmという数値は、極端な寒冷地や乾燥地ではない、穏やかな温帯の性質を裏付けています。
問6	<b>答え 1</b> 賃金水準の低い東ヨーロッパの国々から、より高い賃金を求めて西ヨーロッパの国々へ労働者が移動する現象が見られる。	EU内では「人・もの・お金・サービス」の移動が自由化されています。このため、経済格差がある状況下では、所得の低い東ヨーロッパの国々から、ドイツやフランスといった所得の高い西ヨーロッパの国々へ多くの労働者が移動することになります。これは労働力の確保というメリットがある反面、移動先の国での雇用競争や社会保障負担の増加、あるいは移動元の国での人手不足といった新たな問題を引き起こす要因にもなっています。
問7	<b>答え 1</b> 夏季に乾燥する地中海性気候を活かし、オリーブやぶどう、柑橘類などを栽培する地中海性農業が行われている。	スペインの大部分は、夏に乾燥し、冬に一定の降雨がある地中海性気候に属しています。この気候条件下では、夏の乾燥に強いオリーブやぶどうなどの果樹、あるいは灌漑（人工的な水やり）施設を利用したオレンジなどの柑橘類、野菜の栽培が適しており、これらを中心とした地中海性農業が発達したことで、高い自給率を維持しています。